

エコチル調査とエコチルサイエンス

エコチル調査

エコチル調査とは化学物質や生活環境が濃度も健康や発達にどのような影響をあたえているかを長期間にわたって明らかにする国の大規模疫学調査です（図1）。2011年から2014年にかけて約10万組の親子（妊婦さんとその子供）が登録されており、子供が13歳になるまで追跡調査を行う予定でスタートしました。

調査内容としては、1）妊娠中から出産後にかけての母親・子供の健康状態、2）食生活・生活習慣・十羽環境・化学物質の暴露状況、3）成長・発達・アレルギーや神経発達などの健康指標などになります。

これら1）～3）の環境要因が、様々な疾患、例えば、4）アレルギー疾患（喘息・アトピーなど）、5）発達障害や注意欠陥・多動性、6）低出生体重や早産などとの関連を明らかにすることが目指されています。

この調査は当初2011年から2033年までとされておりましたが、参加者が18歳になるまで、さらに長期間追跡するように延長されています。もちろん、一部のデータは昨年あたりから論文発表がなされています。

エコチル調査ってなに？

子供の健康と環境に関する全国調査とは、赤ちゃんがお母さんのお腹の中にいるときから成長して、中学生になるまでの間、子供の健康と周りの環境の関係を調べる大きな調査研究です。

どうしてそんな調査をしているの？

最近、喘息やアトピー、発達の問題などが増えてきています。その原因の一部には、空気の汚れ、食べ物、住んでいる環境が関与しています。



どんなことを調べているの？

- ・妊娠中のお母さんの食事・睡眠・仕事など
- ・家の中や外の環境(空気や水、使う薬品)
- ・子供の成長、発達、病気のなりやすさなど



どんな人たちが協力しているの？

全国で約10万人の親子がこの調査に参加しています。

環境省、大学、病院などが協力。あ



エコチル？の意味

『ECOLOGICAL CHILDREN study』の略で、「エコロジー(環境)とチルドレン(子供)」を合わせた言葉です。



まとめ

エコチルサイエンス

エコチル調査に長期にわたり調査協力者をしていただいている方々への感謝や楽しみとして、全国各ブロックでは参加者向けの楽しみイベントや特典提供を行っています。例えば、小学生の子供たちにはノベルティー・景品・記念品などを差し上げて子供や親が協力してよかったと感じられるように、ちょっとしたお楽しみを付加することがなされています。13歳以降はギフト交換を可能にする導入しているところもあります。さらには、映画上映会、英語リトミック、親子ヨガ、コンサートや講演会を実施して、応募者の多くの方に人気が高い企画をしているところもあります。

旭川地区では、毎年小学5年生に対して「エコチルサイエンス」という参加型理科実験や職業体験の企画を実施して3年間が経過しました。子供たちが真剣になって科学の面白さや職業体験トレーニングに集中している姿を見ると、保護者の子育てに対する真剣さが伝わってきます。

そこで、本校も今年度も企画にも参加させてもらい、理学療法や作業療法の学びや職業体験の場を提供する予定です。今年度のエコチルサイエンスの企画内容は、右記の10テーマになります。

- 1) 骨格標本をさわってみよう（本校理学療法学科）
- 2) 自助具やメンタルトレーニングゲームを試みよう（本校作業療法学科）
- 3) 藻類の光合成色素を分離しよう！
藻類の中に隠れている、カラフルな光合成色素を分けてみよう。どんな色が見えてくるかな？
- 4) 「イロイロなジュース」
ぶどうジュースの色は変えられる？
- 5) 「血流観察」自分の血管を流れる血液を観察してみよう！」
- 6) 「森林浴体験」森を歩くと健康になります。
その理由をお教えします。
- 7) 「ミラクルフルーツ体験」酸っぱいレモンが甘い？
味覚の不思議を体験しよう！
- 8) 「サーモグラフィー写真館」
サーモグラフィー写真撮ります、差し上げます！
- 9) 「空気砲」学生みなさんご存じ空気砲！
- 10) ビリビリとグリグリ
「ビリビリ」微弱電流により、どれくらい早く神経に伝わるかを体験してもらいます。
「グリグリ」鼻の模型を使って、検体の模擬採取体験をしてもらいます。